

わいせつ行為等に係る校内研修資料

- わいせつ、セクハラ事案について職員で協議しながら研修を実施できるケース・メソッドとしての事例を用意しました。これらの事例は本道で過去に発生した事故を参考にして、本研修資料用に作成した架空のものであります。
- 事例については、事故の内容を時系列で示しています。また、事例の右側には、協議のポイント欄を設けてあります。ポイントを読み、そこで一旦立ち止まりながら、職員間で協議を行ってください。
協議の最後に、それぞれの事案について、事故を未然に防いだり、被害を最小限にしたりするためには、どの場面で、誰が、どうすればよかったのか、意見交換を行いましょう。
- 日頃から児童生徒の成長を願って教育活動に従事している教職員の皆さんにとって、わいせつな行為等により懲戒処分を受ける教職員は、遠く離れた存在でしょう。ましてや、自らがわいせつな行為等の加害者になることなど、想像できないと思います。
- 事例研修に入る前に、人間は誰もが過ちを犯すという当事者意識を再確認するために、「わいせつな行為等につながりかねない要素」について整理したので、一読してから研修を始めてください。

【わいせつな行為につながりかねない要素】

<p>(1)人間の心の中にある性的欲求</p>	<p>人間は誰でも心の中に性的欲求を持っています。普段それは理性で抑えられていて、表面に現れることはありません。時には心の中に現れる性的欲求を理性によって抑制することができず、過ちを犯すことがあります。 つまり、何らかの刺激をきっかけに性的欲求が急激に高まり、表面に現れることがあります。</p>
<p>(2)まじめな人が過ちを犯す可能性(ストレスの影響)</p>	<p>教員は教育公務員として、高度な倫理観と責任感が求められる教職員としての自分と、性的欲求を持った素顔の自分とのギャップによるストレスを、誰でも無意識にため込んでいる可能性があります。 そのストレスが過剰に押さえ込まれたとき、ちょっとした刺激により、性的欲求が歪んだ形で表面に現れ、非違行為に至る場合があります。</p>
<p>(3)職務上の地位や人間関係の優位性</p>	<p>職場におけるわいせつな行為等は、職務上の地位や人間関係の優位性を背景として発生する場合があります。例えば、学校では、指導助言する立場にあるベテラン教職員と若い教職員などの関係を指します。 このような関係においては、職務上の地位が高い者や人間関係の優位性を持った者が、自らの言動を相手が受け入れている、あるいは嫌がっていないと勘違いし、非違行為につながる場合があります。</p>

事例1 人間の心の中にある性的欲求を背景とした事案

校 種 高等学校
 加 害 者 女性教諭A (29歳) 外国語(英語)担当
 被 害 者 3年生男子生徒B (17歳)
 事故の種類 わいせつ行為(免職)

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成〇〇年4月初旬、女性教諭A(以下「教諭A」という。)は、3学年の英語を担当し、熱心に教科指導に取り組んでいた。 ・ ある日、教諭Aは、3年生男子生徒B(以下「生徒B」という。)から授業終了後に廊下で、英語の勉強方法について相談を受け、放課後に、英語科準備室で話をすることにした。 ・ その後、生徒Bは週に2、3回程度、放課後に英語科準備室に教諭Aを訪ね、個人指導を受けるようになった。 ・ 教諭Aは、前年4月に自分の実家があるS市の高校に着任し、4歳になる娘と母親の3人暮らしであり、前夫とは昨年2月に離婚していた。 ・ 生徒Bは、本州の大学を目指しており、3学年に進級した4月から受験勉強に力を入れるようになった。 ・ 生徒Bが通う高校は7割の生徒が就職希望であり受験指導は盛んではなかったものの、生徒Bは、熱心に指導してくれる教諭Aに好意を持ち始めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■あなたが周囲の教職員だとしたら、教諭Aと生徒Bの距離が近くなっていることに気付くことができたでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同年6月下旬頃、生徒Bは教諭Aに「土日に勉強中、質問したいときがあるので、僕の携帯電話の番号を登録してください。」と言って、教諭Aにメモを渡した。 ・ 教諭Aは学校の規則で生徒と個人的な電話やメールのやりとりが禁じられていることから、生徒Bに、学校のルールで、生徒と個人的な電話やメールのやりとりがいけないことを説明した。 ・ 生徒Bは、進学に当たって両親の合意を得ていないことや、学力が伸びていないことについて「悩みを聞いてほしい、そうしないと勉強に意欲がわかない。」と言い、携帯電話の番号を教えた理由を説明した。 ・ これを聞いた教諭Aは、学校の規則を気にしつつも、生徒Bの成績を落としてはいけないと考え、生徒Bに自分の携帯電話の番号やSNSのアカウントを教え、必要な時には連絡するように伝えた。 ・ その後、教諭Aは、生徒Bと毎日のようにSNSでやりとりするようになり、いつしか生徒Bを他の生徒とは違う「特別な存在」とであると認識するようになった。 ・ 一方では、生徒と個人的なやりとりを続けていることに後ろめたさも感じており、誰に相談すればよいのかわからない状態でもあった。 ・ 同年8月上旬頃、年休を取得し自宅にいた教諭Aは、生徒Bから「会いたい、参考書を選んでほしい。」とSNSでメッセージが送られてきたので、「夏休みが終わったら、一緒に勉強しよう。」「キミに合った参考書を考えておくよ。」と返信したところ、生徒Bから「先生に会いたい。」「話がしたい。」とメッセージが送られてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■教諭Aが生徒との間で個人的な電話やメールのやりとりをしてはいけないことについて、生徒Bに説明していたにもかかわらず、自分の携帯電話の番号やSNSのアカウントを教えたのは、なぜでしょうか。 ■また、その時、教諭Aはどのような気持ちだったのでしょうか。 ■教諭Aは生徒Bを「特別な存在」と認識しやりとりを続けているとき、どのような気持ちだったのでしょうか。

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教諭Aは1時間位なら会っても問題ないだろうと思い、同日15時頃、生徒Bの自宅の近くの公園で車に乗せ、1時間程ドライブし、車の中で生徒Bは勉強の進捗状況や友人と海水浴に行った話をした。教諭Aは、道の駅の駐車場でソフトクリームを食べながら、もっと勉強するように話した。その後、生徒Bは教諭Aに会えたことがうれしく、教諭Aの手を握ってきたが、教諭Aはこれを拒否せず、握ったまま話を続けたところ、生徒Bが抱きついてきた。 ・ 教諭Aは、生徒Bが喜んでいることをうれしく感じながらも、これ以上はダメだと思い、「調子に乗り過ぎだよ。」と注意し、生徒Bを自宅の近くまで送り、18時頃別れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教諭Aが生徒Bの提案を受け入れて会うことにしたのは、なぜでしょうか。 ■ 生徒Bが教諭Aの手を握った際、拒否しなかったのは、なぜでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏休み後、生徒Bは週に2回程度英語科準備室に教諭Aを訪ね、個人指導を受けており、英語科の他の教員からも声を掛けられるようになった。 また、教諭Aと生徒Bは毎日、深夜に、SNSでやりとりをしているものの、受験勉強とは関係ない学校生活を含む日常の出来事などであった。 ・ 同年10月下旬頃、生徒Bから「卒業したら先生と交際したい。恋人にしたい。」とメッセージが送られてきたが、教諭Aは生徒Bの気持ちをうれしく感じたものの、恋愛の対象としての実感が無く、それよりも生徒Bに学力の向上が見られないことを心配し、受験勉強に集中するように返信した。 ・ 翌日、SNSで生徒Bからドライブに行きたいという申し出があったが、教諭Aは生徒Bと二人だけでドライブに行くことを躊躇し、返信しなかった。 2日後、生徒Bから「1回だけでいいからドライブに連れて行ってほしい。」とメッセージが届き、教諭Aは1回だけと生徒Bに約束させたうえでドライブに出かけた。 道の駅の駐車場に車を止めて話をしているとき、突然、生徒Bが教諭Aに抱きついてきて、キスをした。 ・ 教諭Aは生徒Bとこれ以上深い仲になってはいけないと思いながらも、キスをしているうちにその雰囲気のにめり込んでしまい、後部座席に移動し抱き合ったまま性行為に至った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生徒Bの行為がエスカレートしている中、あなたが教諭Aだとしたら、どのような気持ちで受けとめるでしょうか。 ■ 生徒Bの家族や周囲の教職員は、二人の様子から何も気付かなかったとしたらその理由は何でしょうか。 ■ 教諭Aがドライブに行くことについて拒否しなかったのは、なぜでしょうか。 ■ 教諭Aが生徒Bとキスをし、その雰囲気のにめり込んでしまったのは、なぜでしょうか。 ■ 教諭Aは、このとき理性のコントロールができない状況になっていると思われるかもしれませんが、どうしてでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ その後、教諭Aと生徒Bは翌年の3月まで、月に1～2回、市内のラブホテルで性的関係を持ったものの、生徒Bが英語科準備室に教諭Aを訪れ、指導を受ける回数に変化はなかった。 ・ 教諭Aは、生徒Bと毎日のようにSNSでやりとりをしており、将来について話し合うようになった。生徒Bからは5月の連休に温泉に行きたいと話があり、教諭Aは計画すると返信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 周囲の教職員が、教諭Aと生徒Bの関係に気が付かなかった理由はどこにあるのでしょうか。

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 翌年4月初旬、生徒Bは道内の大学に進学することになり、教諭Aは、お祝いに、初めて二人だけで市内のレストランで食事をした。生徒Bはデートらしいデートができたことがうれしく、教諭Aと腕を組んで歩いた。 ・ その後、SNSでやりとりは続いていたが、会う機会が減り、生徒Bの方から会うことを避けているように感じた教諭Aは、5月の連休に1泊2日の小旅行を提案したところ、拒否された。 ・ 5月中旬頃、教諭Aは生徒BにSNSで「どうしたの?」とメッセージを送ったところ、「彼女ができた。」「別れてほしい。」と返事があった。教諭Aは生徒Bに電話し、教師と生徒という立場であり、幼い子どもがいる自分がどれだけ辛い思いをして生徒Bを支えてきたか訴えたところ、生徒Bから「つきまとわないでほしい。」と話があった。 ・ その後、教諭Aは生徒BにSNSで「もう一度会いたい。」「話を聞いてほしい。」とメッセージを繰り返し送ったが、返事はなかった。 ・ 同年9月、生徒Bから教諭Aとの関係について聞いた生徒Bの交際相手の女性が、校長宛に教諭Aの行為を告発する文書を送付したことで事故が発覚し、教諭Aは校長に呼ばれ、生徒Bとの関係について事情聴取を受け、性的関係にあったことを認めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 教諭Aが生徒Bの変化に気付くことができなかったのは、なぜでしょうか。 ■ 教諭Aが生徒Bの変化を受け入れ、新しい交際相手の女性との交際を認めることができなかったのは、なぜでしょうか。 ■ 事故発覚の経緯が、生徒の交際相手の女性からの告発ということに、あなたはどのように感じますか。

【全体協議の視点】

- 女性教諭Aの自校の男子生徒Bへのわいせつな行為等を防ぐためには、どの場面がポイントであり、何が必要だと考えられますか。
- 本事案のような不祥事を防止するためには、周囲の教職員として何が必要だと考えますか。

事例2 ストレスを背景とした事案

校 種 中学校
加 害 者 男性教諭A (27歳) 保健体育科担当 野球部顧問 独身
被 害 者 自校生女子生徒多数
事故の種類 わいせつ行為 (免職)

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> 男性教諭A (以下「教諭A」という。)は、小学校から大学まで野球に情熱を注ぎ、中学校教諭になってからも、野球の指導に熱心に取り組んできた。 前任校では4年間、野球部の顧問として生徒の指導を熱心に行い、管内の強豪校に育て上げたことで、生徒、保護者の信頼も厚く、指導に手応えを感じていたところ、平成〇〇年4月にH中学校に着任したが、部員も少なく、あまり熱心に練習をしていなかったため、H中学校での指導に熱意がわかず、前任校の指導を思い出しては、悶々とする日々を送っていた。 さらに、前任校では実家から通勤していたが、いざ一人暮らしを始めてみると、食事や洗濯などの家事が負担となり、教諭Aはストレスを感じるようになっていった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■周囲の教員は、教諭Aが部活動指導や私生活で悩んでいることに気付くことはできなかったのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> 同年5月中旬、教諭Aは、生活環境が大きく変わったことに対する不安や、部活動において自分の指導に対する生徒の反応が前任校と大きく違い、思うような指導ができないことへの苛立ちから、部活動の指導に熱意がわかずにいた。 また、教諭Aは前任校では同年代の仲の良い教員仲間がおり、いろいろと相談したり、年下の教職員に積極的にアドバイスをしたりしていたが、H中学校では年配の教職員が多く、気軽に話すことができないと感じていた。そのため、周囲の教職員とあまり会話をせず、1人であることが多くなっていた。 周りの教職員も教諭Aに声を掛けていたが、あまり良い反応ではないので、声を掛けにくいと感じるようになった。そのため、教諭Aは職場で孤立した存在となっていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■教諭Aが他の教職員に相談することができなかったのは、なぜでしょうか。 ■あなたが、周囲の教職員だとしたら、孤立しつつある教諭Aに対して、どう対応しますか。
<ul style="list-style-type: none"> 同年6月中旬頃、野球部員の保護者3名が、教諭Aの指導に不満があると言い、学校に来た。 校長室で、校長、教諭Aは保護者から「子どもが『先生は指導してくれない。去年の方が良かった。』と言っている。」等の話を聞き、校長が「生徒が充実した部活動になるように指導していきます。」と返答した。 保護者が帰った後、教諭Aは校長から「これからも頑張ってもらいたい。期待しています。」と言われた。 しかし、教諭Aはやる気に欠ける部員を相手に何をどう頑張ればよいのか、これ以上何をすればよいのか分からず、野球に対する情熱を失い、自分の殻にこもるようになっていった。 同年7月上旬頃、野球部は地方大会の1回戦で敗退したことで、3年生が引退し、部員数が揃わないため、休部状態となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■管理職は教諭Aの部活動での指導の状況を把握した場合、どのような助言が必要ですか。 ■あなたが教諭Aだとしたらどうしていたでしょうか。

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> 元気がない教諭Aの様子を心配して周りの教職員が声を掛けても、相変わらず反応はよくなかった。教諭Aから周囲の教職員に声を掛けることもなくなり、学校では話をしなくなった。 この頃、教諭Aは、職員室で回覧されてきた他市で起こった教諭による学校内の盗撮事件の報道を見て、盗撮に興味や関心を持つようになり、盗撮用のカメラとしてインターネットで4.5cm四方程度の小型カメラを見つけ「自分にもできるかもしれない」と思い、当該カメラを購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■あなたが周囲の教職員だとしたら、教諭Aに対してどのように働きかけますか。
<ul style="list-style-type: none"> 同年8月下旬から同年12月下旬までの間、教諭Aは、自校の女子更衣室や生徒会室、音楽室において、長椅子の下や机の中に、女子生徒の姿が写る方向にレンズを向け、小型カメラを設置し、女子生徒の着替えている姿を動画で20回程度撮影した なお、音楽室は、行事などで女子更衣室に入りきらない時に着替えを行う場所であり、生徒会室は生徒会役員が着替えを行う場所であった。 同年12月上旬、教諭Aは、生徒用女子トイレの個室の仕切り上部に女子生徒の姿が写る方向にレンズを向け、小型カメラを設置し、女子生徒が用便する姿を動画で撮影した。 撮影に使用した小型カメラはセンサーが付いており、小型カメラの前を動くものがあると撮影を開始し、5分程度録画できるものであった。 小型カメラは授業の空き時間に設置し、放課後など人がいない時に回収した。撮影した動画データは、帰宅後、小型カメラのSDカードから自分のパソコンに取り込んでいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■教諭Aの約5ヶ月間にわたった盗撮行為が周囲の教職員や生徒に気付かれなかった理由は、何だと思えますか。 ■学校における盗撮事故が例年発生していますが、盗撮を防止する手段として、どんな方法がありますか。
<ul style="list-style-type: none"> 翌年1月下旬、教諭Aが生徒用女子トイレの個室の仕切り上部に女子生徒の姿が写る方向にレンズを向け、小型カメラを設置しておいたところ、カメラが発見され、校長は警察署へ建造物侵入罪による被害届を提出した。 翌日、教諭Aは、カメラを設置する自分の姿が映っていたことから、建造物侵入及び北海道迷惑行為防止条例違反の容疑で逮捕された。 	

【全体協議の視点】

- 男性教諭Aがストレスと上手に付き合い、わいせつな行為に至ることを防ぐためには、どの場面がポイントであり、何が必要だったと考えられますか。
- 周囲の教職員は男性教諭Aに対して、どの場面で、どうすればよかったと考えられますか。

事例3 職場での人間関係の優位性を背景とした事案

校種 小学校
加害者 男性教諭A (47歳) 体育専科担当 既婚
被害者 女性教諭B (25歳) 5年1組担任 新採2年目 独身
事故の種類 セクシュアル・ハラスメント (停職1か月)

事故の内容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・平成〇〇年6月下旬頃、5年1組担任の女性教諭Bは、5、6学年の児童が出場する、9月上旬に行われる市内の小学校陸上競技会の担当になったことから、同校の体育専科である男性教諭Aに対し、児童に指導してもらうように依頼し承諾を得た。 ・それ以降、放課後、男性教諭Aは「練習内容について相談しよう。」と言っては、度々5年1組の教室に行くようになった。二人だけで打合せをしている姿を見た他の教職員は「二人で熱心に取り組んでいるな。」と思っていた。 ・女性教諭Bは前年4月に採用となり、同校で2年目、男性教諭Aとは話をしたことはなかったが、男性教諭Aは管理職の信頼も厚く、同僚からも慕われていることに気付いていた。 ・そのうち、男性教諭Aは女性教諭Bに「競技会が終わったら打ち上げに行こう」と誘うようになった。 ・男性教諭Aは、職員名簿を見て女性教諭Bの携帯電話の番号を確認し、「メールを送ってみました。こちらから色々連絡をとることもあると思うので、Eメールアドレスを教えてください。」とショートメールを送った。 ・女性教諭Bは、男性教諭Aから突然ショートメールが届いたことに驚いたが、職場の先輩であり、陸上競技会の指導でもお世話になると思い、Eメールアドレスを教えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■周囲の教職員は、男性教諭Aと女性教諭Bの距離が近くなっていることに気付くことはできなかったのでしょうか。また、気付いた場合にはどのような対応が必要ですか。 ■男性教諭Aは女性教諭Bにショートメールを送ったとき、どのような気持ちだったのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・同年8月中旬、男性教諭Aは、女性教諭Bに対して、練習の様子や競技会までの練習日程等について、Eメールを送って連絡するようになった。 ・女性教諭Bは、男性教諭AからEメールが送られてくることに嫌悪感を持っていたが、練習のお礼などの差し障りのない内容を返信していた。 ・男性教諭Aは、女性教諭BからEメールの返信があるので拒まれていないと感じて気をよくし、8月末日までに合計100回以上のEメールを送り続けた。 ・女性教諭Bは、送られてきたEメールに対し、差し障りのない内容で返信し続けた。陸上競技会の指導をお願いしていることもあり、嫌悪感を持ちつつも、自分が我慢すればよいと思い、他の教職員には相談せずにいた。 ・ある日、男性教諭Aから、「陸上競技会に向けて二人で打合せをしたいから食事に行こう。」という誘いのEメールが届いた。 ・女性教諭Bは、いつも学校で会っているのにおかしいなと不審に思ったが、あからさまに断れないので、「今は忙しいので、少し落ち着いたら。」と返信をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男性教諭Aは、どういう気持ちで女性教諭BにEメールを送り続けたのでしょうか。 ■あなたが女性教諭Bだとしたら、誰かに相談していたでしょうか。 ■あなたが勤務する学校では、教職員同士のセクハラ相談に対する窓口は機能していますか。 ■女性教諭Bが男性教諭Aの誘いをはっきりと断ることができなかったのは、なぜでしょうか。

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 同年8月下旬、その後も、男性教諭Aから、しつこく食事に誘うEメールが届いた。 ・ 女性教諭Bは、二人で食事に行くのが嫌だったが、陸上競技会の指導をお願いしていることもあり、はっきりと断ることもできず、承諾した。 ・ 男性教諭Aと女性教諭Bは、市内の飲食店へ食事に行った。食事をしながら、男性教諭Aは女性教諭Bの目を見つめながら「かわいいね。」「若いからいいね。」などと言った。 ・ 女性教諭Bは、気持ちが悪くなり、早く帰りたと思ったので「駐車場の時間があるので」と伝えたところ、男性教諭Aは「次はどこにする。陸上競技会が終わったら打ち上げをしよう。」と何度も繰り返し言ったが、女性教諭Bは同意しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男性教諭Aは、女性教諭Bが嫌悪感を持っていることに、なぜ気付かなかったのでしょうか。 ■この時、女性教諭Bはどのような気持ちでいたのでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月に入り、陸上競技会へ向けた練習も多くなり、連日、男性教諭Aと女性教諭Bは、児童への指導を行っていた。 ・ 練習後、男性教諭Aと女性教諭Bが、二人で道具を片付けていた際、男性教諭Aは女性教諭Bに「スタイルがいいね。」「目が合うと照れるよ。」などと言った。 ・ その後も練習（10回以上）の度に、男性教諭Aは、上記のことを言ったり「打ち上げが楽しみ。」「打ち上げがあるから頑張れる。」と言ったりした。 ・ 女性教諭Bは、陸上競技会が終わるまでは男性教諭Aの機嫌を損ねてはいけないと思い、「やめてください。」とは言えず、男性教諭Aの言葉を聞き流すようにしていた。そして、はっきりと「打ち上げに行きたくない。」とは言えず、「当日、来てくださる先生方とみんなで行きましょう。」と答えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■男性教諭Aが、自分自身の言動を自制するには、どのようにすればよかったのでしょうか。 ■この時、あなたが女性教諭Bだとしたら、どのように答えたでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月中旬、市内の小学校陸上競技会が行われ、終了後、女性教諭Bは、男性教諭Aに人目につかないところへ呼び出された後、近い距離で「お疲れ様。」と言われ、改めて打ち上げに誘われた。 ・ 女性教諭Bは、二人の距離があまりに近いので、一瞬恐怖心を抱いたが、打ち上げの誘いを断り切れず、笑顔で「皆さんに声をかけます。」と言った。 	<ul style="list-style-type: none"> ■この時、あなたが女性教諭Bだとしたら、どのように答えたでしょうか。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 翌日、男性教諭A、女性教諭B及び若手教員3人の5人は、市内の居酒屋で陸上競技会の打ち上げを行った。 ・ 女性教諭Bは、本当は行きたくなかったが、これが最後だと思って打ち上げに参加した。 ・ なお、女性教諭Bは打ち上げ終了後、速やかに帰宅したい思い、アルコールは飲まないことに決め、車で打ち上げ会場に行った。 ・ 5人は、陸上競技会のことや、学校のことなどの話をしながら、約2時間飲食をして打ち上げを終了した。 ・ 打ち上げが終わると、女性教諭Bは早く帰ろうと思ったが、男性教諭Aが「駐車場まで送るよ。」と言ったので、仕方なく一緒に歩いた。 	

事 故 の 内 容	協議のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駐車場の近くまで来たとき、男性教諭Aは立ち止まり、正面から自分の両手を女性教諭Bの両肩に回し、抱きつこうとした。 ・ 女性教諭Bは、突然のことに驚き、「ダメです。」と言って拒否したが、男性教諭Aは、有無を言わず抱きついてきた。 ・ 女性教諭Bは、「やめてください。」と何度も言って、手で押しのけて男性教諭Aから離れた。女性教諭Bは、とても怖くなり、足早に駐車場に向かったが、男性教諭Aが追いついてきた。 ・ 女性教諭Bが、急いで自分の車に乗ろうとしたとき、男性教諭Aは「もう1回。」と言って女性教諭Bの正面から抱きついてきた。女性教諭Bは、胸の前で手を交差し、身構えて拒否したが、男性教諭Aは女性教諭Bの手を掴んで無理矢理抱きつこうとしたので、女性教諭Bは身の危険を感じ、「やめて、卑怯者。」と叫び、男性教諭Aが怯んだ隙に車に乗り込んだ。その際、男性教諭Aは、「帰ったらメールちょうだい。」と言った。 ・ 翌日、女性教諭Bは、男性教諭Aのこれまでのセクハラ行為が我慢の限界に達したことから、同僚の教諭に男性教諭Aから受けたセクハラ行為について相談するとともに、同僚の教諭と一緒に校長に報告したことにより、本事案が発覚した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 男性教諭Aが、女性教諭Bの本当の気持ちに気付かないのは、どうしてでしょうか。 ■ 男性教諭Aは、自分自身の言動を自制するにはどのようにすればよかったですでしょうか。 ■ この時、女性教諭Bはどのような気持ちで同僚に相談したのでしょうか。

【全体協議の視点】

- 男性教諭Aが、自らの言動を女性教諭Bが本当は受け入れていない、嫌がっていると気付くためには、どの場面がポイントであり、何が必要だったと考えられますか。
- 不祥事防止のための学校体制として、何が問題であったと考えられますか。
- 同僚間で発生したわいせつ・セクハラ事故のほとんどがベテラン男性教師と新人女性教師（教育実習生を含む）の間で発生し、そのうち5割以上が職場の宴会の帰りに、無理に二次会に誘ったり、自宅まで送ると称してつきまとい、一方的に抱きついたり、キスを強要しています。お互いの気持ちを確認しないで、なぜ、このような一方的な行動を取るのか考えてみましょう。